

ユニバーサルデザインを広めよう

すべての人にやさしいまちへ



段差がなくて車いすやベビーカーでも入りやすい

段差がある場合は、周りの人がお手伝いしましょう。



文字の大きさや色が明確なポスター



誰にでも何の情報かすぐわかります。

困っている人に声をかけるのがユニバーサルデザインの第一歩



どんな人に対しても、困っているときに声をかけてあげるのがユニバーサルデザインの大事な考え方です。困っている人がいたら、まず明るくさりげなく「何かお困りですか」など声をかけてみましょう。

ユニバーサルデザイン(以下、UD)とは、障害の有無や年齢、性別、国籍などに関わらず、たくさんの人々が利用しやすいように製品やサービス、環境をデザインする考え方です。区では、UDを活かして、だれもが住みやすく、訪れやすいまちづくりを推進していきます。

☎ まちづくり推進課まちづくり担当 ☎3647-9781、FAX3647-9009

商店街や金融機関等でも障害者の視点で意識啓発

区では、小学校への「UD出前講座」や区民の皆さんと協働でワークショップを開催するなど、ユニバーサルデザインを普及するための活動を行っていますが、今年度は新たに商店街や金融機関等に向けたUD意識啓発活動を行っていきます。

商店街にUD意識啓発

障害者が安心して外出し、買い物ができるようなまちづくりを実現するため、区内商店街にUD意識を広げる取組みを実施します。区ではこの取組みをさせていただける方を募集します。

☑ 障害を持つ(視覚障害者、車いす利用者および聴覚障害者)区内在住・在勤の方

☑ 区内商店街で実際に買い物をしながら、その時に必要な援助を区指定のチェックリストを用いて、商店員に伝えていきます※協力いただいた方には奨励金を支給します

※取組みを行うには、区への事前申請と審査がありますので、事前にご相談ください

☎ まちづくり推進課まちづくり担当 ☎3647-9781、FAX3647-9009



お札、硬貨、レシートを別々に渡しますね

種類ごとに説明してもらえると助かります

金融機関などUD窓口研修を実施

区では、区内金融機関や公的機関窓口職員にもUD視点による窓口対応を身につけてもらうために、「UD窓口研修」を実施します。障害当事者が講師となり、障害者が普段、窓口対応で困っていることや改善して欲しいと思っていることを、受講者が疑似体験することで、実践的な対応を学びます。

このまままっすぐ進んでくださいね



具体的な方向を教えてくださいるので安心です

▲「あちら」ではなく具体的な案内をしましょう